

熊本大学広報誌

# 熊大通信

vol. 68  
2018 SPRING

## 巻頭座談会 学長×学生

学びたいから、自ら動く。  
熊本大学は、そんな学生を応援します！

特集Ⅰ

## 始まる。

深い学びを保証する熊大の教養教育

特集Ⅱ

行ってみよう！活用しよう！  
熊本大学 学外オフィス



Takumi M.



## 熊大で生きる君たちへ

### 化学実験場内の階段教室

明治22(1889)年、五高本館と同じ頃に竣工した煉瓦造の化学実験場。高等教育機関の化学実験場として、現存最古であり、唯一、完全な形で残っているものである。階段教室の他に天秤室や実験室があり、ランプの上昇気流を利用した強制排気装置を持つ「ドラフトチャンバー」を備えている。

物性物理学や地球物理学、結晶学分野での先駆的研究で世界的に著名な科学者、寺田寅彦もこの階段教室で学んだ。寺田は随筆家、俳人としても知られる。雪の結晶研究で知られる中谷宇吉郎(物理学者、随筆家)や地震研究の坪井忠二(地球物理学者、随筆家)、世界で初めて繊維構造物質のX線回折の実験を行った西川正治(物理学者)など多くの科学者を育てた。右の言葉は「写生紀行」の一節である。

※化学実験場(国指定重要文化財)は、熊本地震による被害のため修復工事中です。

## CONTENTS

- 03 巻頭座談会 学長×学生 学びたいから、自ら動く。熊本大学は、そんな学生を応援します!
- 05 特集Ⅰ 始まる。深い学びを保証する熊大の教養教育
- 11 研究室探訪 新薬や健康寿命に深くかかわる 脂質メディエーター研究 大学院生命科学研究部 薬学生化学分野 杉本 幸彦 教授
- 13 特別企画 夢は形になる!がん医療に新風を起こせ!
- 15 特集Ⅱ 行ってみよう!活用しよう! 熊本大学 学外オフィス
- 17 卒業生ジャーナル
- 19 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ

表紙 / 【原画】松永 拓己 / 教育学部 准教授  
桜が満開になった黒髪北キャンパス内の、化学実験場と、学長と学生の対談をイメージ。

### 熊本大学広報誌 熊大通信 vol.68

\*皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

【発行】国立大学法人熊本大学  
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1  
Tel.096-342-3119 Fax.096-342-3110  
sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【編集】熊大通信編集委員会  
大日方信春 / 委員長 大学院人文社会科学研究部(法学系)  
茂木 俊伸 / 大学院人文社会科学研究部(文学系)  
松永 拓己 / 教育学部  
松永詩乃美 / 大学院人文社会科学研究部(法学系)  
木村 弘信 / 大学院先端科学研究部(理学系)  
川島扶美子 / 大学院先端科学研究部(工学系)  
永田まなみ / 大学院生命科学研究部(保健学系)  
首藤 剛 / 大学院生命科学研究部(薬学系)  
田中 尚人 / 熊本創生推進機構  
後藤 正三 / マーケティング推進部広報戦略室

【制作】株式会社 談

※本誌記載職名・学年等は取材時のものです。



興味があるから  
やるというよりは、  
やるから興味ができる場合が  
どうも多いようである。

— 寺田寅彦



# 学びたいから、自ら動く。 熊本大学は、そんな学生を応援します！

自由な時間が増える大学生生活をどう充実させるかは自分次第です。授業以外の場でも知識や経験を積むため、学生自らが企画する取り組みに第10回目となる昨年に採択された「セクシャルマイノリティと医療」に取り組んだ、国際社会医療研究会の代表二人と原田学長が、自ら行動する大切さと課外活動の意義について語ります。



右から  
原田 信志 学長  
医学部医学科 4年  
田中 晶子さん  
医学部医学科 2年  
おかもと 清方 啓仁さん

## 医療を志すからこそ、 難しい社会問題を テーマに

**学長** 「きらめきユースプロジェクト」は毎回発表を聞いています。国際社会医療研究会の皆さんは、普段どんな活動をしているんですか。

**田中** 30人のメンバーには、国際社会に興味がある人もいれば、地域医療に貢献したいという人もいます。月ごとにテーマを決め、それぞれの興味を勉強会やスタディツアーで共有、学外活動を通して学んでいます。熊本地震後は

もっと地元を知ろうという声が上ががり、水俣病を学ぶツアーも行いました。

**学長** 今回のセクシャルマイノリティに関しては、差別や偏見とかかわる極めてセンシティブなテーマです。

**田中** 昨年、国際社会医療研究会の部長になって何をしようか考えた時に、あえて取り上げづらい問題であるLGBTをテーマにしました。LGBTのうち、これまで精神疾患とされていた性同一性障害も、最近WHOが精神疾患ではないという公式見解を出しています。

**緒方** 私たちが将来医者として働く中でも、LGBTは私たちの職業と切り離せない問題として社会に浮上していると考えました。

**田中** 苦しんでいる患者さんを診るには、社会背景を理解することが大事。活動を通して、社会問題に関して深く知りたいと思っています。

**学長** 医学部のカリキュラムでは、学ぶことが多すぎて、

病気や医療が社会問題と密接にかかわっていることを学ぶまでにはなかなか至らない。お二人が医学では見過ごされがちな部分をしっかりと考えておられることに驚きました。

## 現場に飛び込んでわかる、 社会問題解決の 難しさと糸口

**学長** 活動の中で、タイでヒアリングをしたんですよ。

**緒方** タイのバンコクはセクシャルマイノリティの方にとって比較的住みやすいとされています。でも、タイの大学生とのディスカッションや地元の人へのヒアリングを通して感じたのは、タイといえどもマイノリティの方に嫌悪感を持つ人はいるということ。解決していくためにはまず、社会の実質的な面の改良から始めるべきだと思います。

の方が直面する問題を議論したくても、そのために必要な言葉を知らないんです。たとえば、自分は女性でも男性でもないと考える人をエックスジェンダーと言いますが、それも知りませんでした。言葉をはじめ、何が議論になっているかというところから勉強が必要。今年はずっと学びたいと思っています。

**学長** 私はアメリカでエイズ研究に携わっていたこともあって、セクシャルマイノリティの方々の考え方も、そうでない方々の考え方も聞いていました。そこから、差別や偏見においては、表面に出てくるものと奥底にあるものにギャップがあると考えています。きらめきユースプロジェクトの発表でそのことを皆さんに質問したら、しっかりとわかっておられ、いい勉強をしているなと感じました。

**田中** 私は、自分自身にもっと勉強が必要だと感じました。セクシャルマイノリティ

だと学生には話しています。

**緒方** 私がタイでもう一つ学んだことが、行ってみたいとわからない、ということ。タイに行く前に集めた情報でバンコクにはLGBT専用トイレがあると聞いていましたが、見当たりませんでした。事前情報にはずれが多く、やっぱり実際に行動してみることが大切だと実感しました。

**田中** 私は行動が遅いほう。研究会では1年生から活動していました。学外の団体の活動に興味を持って参加するようになったのは3年生になってからなんです。学生さんだったらいくらでも参加していいよと言ってくださる団体も多いので、できたら1年生のうちから学外活動にも積極的に参加すると、いい経験ができると思います。

**緒方** 先輩から言われたことですが、誘われたらとりあえずイイエスと言えど。それだけで自分がかめる



タイのチュラロンコン大学でのインタビューの様子。英語が話せない一般の方もおり、医学部3年のセックさんがタイ語で深い質問してくれました



チャンス量が変わります。準備ができてない、知識がないからと足踏みしていたら何も始まりません。人に

会い、見ることから始めてもいい。かえって意欲が湧くと思います。

**学長** 今の日本の大学生に足りないのは、お二人のような積極性や行動性です。漫然と学生生活を送るのではなく、興味を持ちテーマを持って突っ込んでいく。一回でもいいし、それが習慣になればもいい。熊本大学の学生にはぜひ、そんな積極性を身につけてもらいたいですね。

\*1 学生自らが企画する、地域連携や社会貢献などにかかわる優秀な取り組みに対し大学が経済的支援を行うプロジェクト。 \*2 医学部公認サークル  
\*3 Lesbian (レズビアン/女性同性愛者)、Gay (ゲイ/男性同性愛者)、Bisexual (バイセクシャル/両性愛者)、Transgender (トランスジェンダー/生まれたときの性別と自分が認識している性別が異なる人)の頭文字をとった言葉。



特集1

# 始まる。

## 深い学びを保証する

# 熊大の教養教育

体系的な学びが新たな「視点」と「気づき」を生む教養教育科目パッケージ制

熊本大学では平成30年度入学生から教養教育に科目パッケージ制を導入します。

パッケージ制では、複数の科目をテーマで結び、約10科目を1つのパッケージとして提示。

学生は、複数のパッケージ(下図)の中から興味・関心のあるパッケージを選択し、

授業を履修することになります。その中には、新たな興味・関心のきっかけとなる科目もあり、

各テーマについて、より深く学ぶ機会となるのです。

これまでとは異なる学びのスタイルは、新たな視点と気づきをもたらし、

その後の学びや研究を深める礎となるでしょう。

本号では、熊本大学新聞社の学生と共に、学生の視点で、いくつかの科目をご紹介します。

## 「学び」の大きな転換期を支える 教養教育科目パッケージ制

高校までの受け身の学習から、主体的な学びへ転換する時期が大学の一年目。

「学問」をしっかりと修めるためだけでなく、  
これからの人生を豊かにする鍵を握るのが教養科目です。

今年度から導入された教養教育科目パッケージ制について、  
川越明日香准教授に伺いました。

中から履修科目を決める際も、本来は、学生が自分の得意不得意や、興味・関心にもとづいて有機的に科目をつなぎ合わせてほしいのですが、実際は時間割の都合や単位の取りやすさなどを基準に履修科目を決めている状況がありました」と川越准教授。そのため、ここ数年は履修希望科目の偏りによる受講制限も課題に。「結果、学士課程を修了した時に、教養科目で何をできることができたのか、学生自身がわかっていないということがあったと思います」と話します。

科目をテーマで体系的につなぎ、受講機会も保証

そこで平成30年度より熊本大学に導入されたのが、教養科目のパッケージ制です。「複数の教養科目を、大学側が、体系的なつながりをもったパッケージにして提供。パッケージでは、受講制限を受けることがないよう受講機会を保証し、1パッケージから6単位以上を取ることにしてい

### リベラルアーツを軸に学問の扉を開く教養科目

「大学1年生は、高校までの受け身の学習から、学生自らが主体的な学修へ転換する時期。その時期に、大学での勉強の仕方、学修習慣を身につけておかないと、後で学業に頓挫してしまうおそれもあります」。教養教育科目パッケージ制は、学問を追究する力を養うために大学側が提供するフレームといえます。そのフ

レームの中でぶれることなく

テーマに沿って教養科目を学ぶべし、専門教育に入る前に深く学ぶ力をしっかりと伸ばせなくてはなりません」と川越先生。「毎回同じ学生たちが顔を合わせ、同じパッケージ内に授業を持つ教員の連携も生まれることで、学修コミュニティが形成されることを狙っています」。

「大学1年生は、高校までの受け身の学習から、学生自らが主体的な学修へ転換する時期。その時期に、大学での勉強の仕方、学修習慣を身につけておかないと、後で学業に頓挫してしまうおそれもあります」。教養教育科目パッケージ制は、学問を追究する力を養うために大学側が提供するフレームといえます。そのフ

「思います」。教養の根幹はリベラルアーツであり、伝統的な文学部と理学部などにも有した伝統的な総合大学であることが、熊本大学の強みだと川越准教授。「テーマを多角的にとらえ、深く考える力をどれだけ身につけられるか、その鍵を握るのが大学で最初に学ぶ教養科目だと思います」。熊本大学の充実した教養教育が、人生をより豊かにしてくれる糧となります。

大学教育統括管理運営機構  
評価分析室  
かわごえ あすか  
川越 明日香 准教授



### 私たちが取材しました!

公認サークル 熊本大学新聞社



### パッケージ制とは

文学部・教育学部・法学部の学生		理学部・医学部・薬学部・工学部の学生	
第1パッケージ 環境を考える	第2パッケージ 命を見つめる	第5パッケージ 人間を探究する	第6パッケージ こころを科学する
第3パッケージ 自然に触れる	第4パッケージ 安全・安心に暮らす	第7パッケージ 歴史を探究する	第8パッケージ ことばを科学する
学生は1つのパッケージを選択し、パッケージ内の科目の中から6単位以上を選択する。		第9パッケージ 世界を探究する	第10パッケージ 社会を科学する

例：第1パッケージの科目テーマ一覧  
海と生命、天文学概論、生物物理概論、健康と化学、地球を巡る大気と水1、自然の中の化学物質(2単位)、障害者と教育、地球を巡る大気と水2、持続可能な社会づくりと教育

※(2単位)表記以外のものは全て1単位です



# 身近にあるものを通して 考古学の一端を知る

第3パッケージ 自然に触れる

植物と昆虫と人の歴史

フィールドワーク熱意度 ★★★★★

小畑先生は、考古学のためなら、シベリア・中国・東南アジアまでとっ飛び、フィールドワークでしか学べないことが沢山ある、が先生の持論。希望すれば、一緒に連れて行ってもらえるかも？



「植物」や「昆虫」から  
見える人の暮らし

Q 今回の教養の授業は、  
どのような内容ですか？

私が担当する教養講座では、土器・遺跡の中から見つかった植物や昆虫を通して考古学の最先端の研究について

でイネが発見され栽培されていたかというルーツを考古学によって探ること

は、私たちが米を主食としているので、想像しやすく、興味が持てると思います。一方で昆虫は「ゴキブリ」や「ハエ」といったいわゆる私たちが害虫と呼んでいるものについて扱います。彼らの祖先は人間よりずっと昔からいて、生態系の中で生き残っていくためにどのような軌跡をたどってきたかを知れば、これからは単に害虫とは呼べなくなるかもしれません。

「害虫」は、近代以降の日本に現れた概念です。考古学では、当然もつと昔の生活・文化について考えなくてはなりません。だから、私は考古学を研究するときは現代的な思考だけでなく、その研究の対象が存在していた時代に即して考えることも重要だと思っています。そのような思考方法も講義の中で学生に伝えていけたらいいですね。



取材しました！  
法学部法学科2年  
ますだ こうだい  
益田 航大

先生  
オススメの  
一冊

**タネをまく縄文人**  
最新科学が覆す農耕の起源  
小畑弘己 (吉川弘文堂)

X線写真やCTスキャンなどを駆使し、土器の中を調査することで発見されたのは、それまでの常識を覆す縄文人の暮らし。常識だと思っていたことが、違っていることもある、という実例を記した本。

「まね」をして「なれる」  
ことで未来が見えてくる

Q 教養を学ぶことは、  
その後の大学生活に  
どんな影響があるのでしょうか

大学は、各分野のプロフェッショナルがそろった「知の宝庫」です。学生側から、積極的に学ぼうとすればいくらでも知見を広めることができるでしょう。学習の「学」とは「まねる」ことであり、「習」とは「なれる」ことであると私は考えています。できる人の「まね」をして、それに「なれる」ころには、例えば自分がしたい研究内容がおのずと見えてくるのではないのでしょうか。今年度からパッケージ制が導入されますから、学生は大学のシステムをうまく利用して自分の探求心を満たして欲しいですね。

# 海の現状を知って、自分たちの 明日の暮らしを考える

第3パッケージ 自然に触れる、第9パッケージ 世界を探求する

初めて学ぶ海洋学

海洋学を広める熱意度 ★★★★★

海洋学を広めるべく10年かけて教科書を作り上げた。一冊4000円するところを、自分で絵も書き写真も撮りに行ったことで2000円を切ることに成功！全ては学生に安く購入して授業に臨んでもらうため、とのこと。



海は今  
大変な状態になっている

Q 海洋学とはどんな学問ですか？

海洋学の授業の基本的な目的は、海の理解者を増やすことにあります。今、海洋の地域で一番問題になっているのはプラスチックゴミなんです。プラスチックゴミがどんどん小さくなっていて、魚の中に入り、それを私たちが

朝鮮のミサイルが日本海に落ちた場合も海洋が関わってきます。海と関係なく陸だけでやっていることは、実は本当に少ないのです。さらに陸でやったことは海に流れていくので、一口に海洋学と言っても研究や調査内容は驚くほど多岐にわたります。

は食べるわけですから、小さなプラスチックゴミはどこから来るか。みんなのポイ捨てです。ポケットから飴の包みが落ちて、雨が降ればそのまま川に流れていきます。大雨のときは家から流されます。つまり、ゴミを出すのは陸上に住んでいる人全てなのです。地球には70億人いて何本も川が流れているので、積み積もって海はどんなにもない状況になっています。いずれきれいになると思いますが、最早そんな状態ではありません。海が大変なことになっていることを教えていかないと、地球が大変なことになります。

海洋学は総合科学

Q 海洋学と私たちの暮らしとの関連は？

実は、今の社会情勢も海洋と関係しています。例えば、中国船が尖閣諸島へ行ったり、日本の領海や排他的経済水域で赤サンゴを取ったりします。北

海洋学は総合科学で、いろいろな分野をベースにして進めていくのが、欧米の海洋学の基本的なスタンスです。しかし日本はそういう人が育っていません。海の調査には莫大な費用がかかるのが原因の一つです。私は潜水調査船に6回乗ったことがあるのですが、1日潜航するのに1千数百万円します。外洋の長期調査では経費が10億円近くになります。そんなところに行ける先生が少ないので、私がやらないと、という思いで授業をしています。教養では、難しいことをするつもりはありません。ただ内容は世界のトップニュースに入るような情報を含んでいます。島国である日本に住んでいる以上、最低限必要な海洋学に関する教養を身につけることは、これからの生活に大いに役に立つと思います。



取材しました！  
理学部理学科2年  
すし なりあき  
函師 齊昭

先生  
オススメの  
一冊

**はじめて学ぶ海洋学**  
横瀬 久芳 (朝倉書店)

海洋学を身近なところから学べる書。横瀬先生の、長年の研究が分かりやすくまとめられている。





取材しました！  
文学部文学科2年  
むとう まり  
武藤 茉莉

先生  
オススメの  
一冊

世界言語への視座  
—歴史言語学と言語類型論  
松本 克己（三省堂）

世界の言語に関する視野の広さが学べる1冊。なぜ、言語の歴史を学ぶのか、人類の言語にはどのような変化があり、今後ありうるのか、考えるきっかけになるかもしれない。



第5パッケージ 人間を探求する 文字の人類史  
**言語と人類の歴史を通じて  
知らない世界と文化を理解する**



大学院人文社会科学研究所  
(文学系) 言語学分野  
こだま のぞみ  
児玉 望 教授  
東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。平成21年より熊本大学文学部教授に。専門は言語史学(音韻史)で、特にインドの少数民族の言語研究を行っている。

言語オタク度 ★★★★★  
学生時代、開講されている言語の授業を片っ端から受講し、英語ドイツ語フランス語はもちろん、スペイン語やロシア語も習得し、独学でポルトガル語も学んだという。また文字オタクでもあるとか。

言語学は  
未知の世界への窓口

Q 言語学とはどんな学問ですか？  
私の専門は言語史研究です。今はあくセントなど日本語の音声変化の解明が中心ですが、最初は多様なインドの言語のひとつテルグ語の成り立ちを勉強しました。主要とはいえず、人口の1

割以下しか使っていないのが、テルグ語。インドには、ほかにも話者数が数万人以下のコミュニティー言語などもあり、そのようなマイナーでテキストのない言語をやりたくて、メジャーな言語の道には進みませんでした。調査のために現地へ行くと、まさに子どもが頃読んだファンタジー小説のように異世界に飛び込んだ気分でした。別世界の人と話しているような、そんなおもしろさがありましたね。

言語学を大学で学ぶということ

Q 言語学の分野の中で、教養ではどんなことを教えられるんですか？  
教養の授業では言語学の中でも親しみやすい「文字の歴史」について話そうと考えています。高校で世界史をどう学んでいた人は、古代の文明等で文字について少し触れたでしょう。大学で勉強

するのなら、そういう高校で教えられてきたことがどうやってわかってきたのか、ということを理解できるようにもならないといけないと思って授業をします。受講者は大半が理系になりますよ。理系の人にも関係があるような、少しでもおもしろいと思ってもらえるような授業を心掛けるつもりです。言語というのは「何かを使って何かを表す仕組み」のことですけれども、その「何か」とは何なのか、言語ごとにどんな特徴があつてどのように異なるのか、という問いについて考えるのが言語学です。言語学を学ぶことは、外国語、特にテキストのない少数言語などを習得するとき役に立ちます。昔はキリスト教の布教や植民地支配のために言語学者が雇われることもあつた、と言つとわかりやすいでしょうか。言語学を学ぶと、1つの言語だけを使つていて、これが当たり前だ、と思つてきたことが実は当たり前ではない、ということに気づけます。「いろいろなことを相対化し、そしてそれは何故なのかということを分析できるようになる」わけです。そもそも大学での学び、教養というものはそういうものなのではないかと思つています。



取材しました！  
文学部歴史学科1年  
むらさ とあち  
村里 泰知

先生  
オススメの  
一冊

コールドスプリングハーバー  
糖鎖生物学 第2版  
Ajit Varki, Richard D. Cummings,  
Jeffrey D. Esko, Hudson H. Freeze,  
Gerald W. Hart, Marilynn E. Etzler 著  
鈴木康夫・木全弘治 監訳  
(丸善出版)

糖鎖生物学の概要を知るならこの1冊。世界中の糖質研究者から評価を得ており、糖鎖生物学を系統立てて、分かりやすく理解できる。



第6パッケージ こころを科学する 第3の生命鎖「糖鎖」の織りなす世界  
**医学、工学、食品まで関わる  
糖鎖の世界を読み解く**



大学院生命科学研究部  
(保健学系) 生体情報解析学  
おおつほ かずあき  
大坪 和明 教授  
平成12年京都大学大学院薬学研究科博士課程修了。理化学研究所勤務を経て、平成25年より熊本大学大学院生命科学研究部(保健学系)へ、専門は疾患糖鎖生物学。

授業アクティブ度 ★★★★★  
グループごとに発表の機会が設けられており、質問や意見は自由なので学生同士の議論も盛ん。

ヒトの不思議は糖鎖を  
分析すると解析できる

身近な糖鎖をグループ  
ワークで考える授業

Q 生体情報解析学とは  
どんな学問ですか？  
私の所属している生体情報解析学分野では、生命現象を細胞や分子レベル

Q 今回の授業は、  
どんな内容ですか？  
糖鎖は、一般にはあまり知られていませんが、実は病気や生命に限らない、とても広い範囲で活躍しています。

で解析することで、生命のいとなみや病気の原因を調査したり、医療検査技術の研究を行つたりしています。基礎から臨床まで偏らずに学べる貴重な分野といえます。卒業生は、資格が取れる臨床検査技師以外に、創薬や科捜研の捜査官など、幅広い職種にも関係しているんですよ。  
その中で、私の専門である疾患糖鎖生物学では、甘くない糖の鎖、糖鎖を対象に研究を行っています。糖鎖は、体のいたるところで様々な活動を司つたり、逆に病気を引き起こしたりするもので、DNAやタンパク質に続く「第三の生命鎖」と言われたりもします。糖鎖には、さまざまな生物情報が記されていて血液型も決めているんです。私は、研究室の学生たちとともに、糖鎖に関わるガンなどの原因や対策法を探しています。最終目標は、誰も成し遂げたことのない、糖鎖に記された生物情報の解読です。

例えば、人と乳酸菌の相性を決めたり、軽くて強い夢の新素材の材料になったり、溶けないアイスクリームに応用されたり…。この他にも、目からウロコの糖鎖の活躍がまだまだあります。この活躍や私達の生活との関わりを皆さんに知ってもらおうのが、私の授業の目的です。授業ではグループ単位で調査を行つてもらおうので、コミュニケーションをとりながら問題解決する力のトレーニングにもなると思っています。  
私が研究の道に入ったきっかけは、大学時代の医学部のバイトで教授にかけられた「専門家なんていない。いるとすれば、それは研究に興味や情熱を持っている人だ」という言葉でした。好奇心やワクワクする気持ちを忘れずに、積極的に授業に臨んでくれたら嬉しいですね。





薬学生化学分野  
杉本 幸彦 教授  
Yukihiko SUGIMOTO  
大学院生命科学研究部

# 研究室探訪

## 新薬や健康寿命に深くかかわる 脂質メディエーター研究



### 脂質研究を柱に、 副作用のない新薬開発を

杉本幸彦教授の研究の柱は、脂質メディエーターです。脂質メディエーターとは、生理活性を持ち、細胞に存在する受容体というタンパク質を介して作用を発揮する脂質のこと。杉本教授がターゲットとするプロスタグランジン(PG)もその一つです。「人は何かに感染すると、細胞膜を形成するリン脂質という分子がPGに変わり、これが熱や痛みの原因となります。このPGの合成を阻害して熱や痛みを抑える薬がアスピリンです。アスピリンの解熱鎮痛作用はよく知られていますが、「いいことばかりではなく、副作用もあります。例えば胃潰瘍はその一つ。また、アスピリンを多用する米国ではアスピリン喘息で数万人が亡くなっています。実はPGには、熱や痛みを起こす悪玉作用だけではなく、私たちの体に必要な善玉作用もあるのですが、「アスピリンはPGのすべての作用を止めてしまう。

これが副作用を起こす原因になります」。そこで杉本教授は、PGが作用を発揮するために必要な受容体に着目。8種類ある受容体それぞれが欠損したノックアウトマウスの脳に同じPGを投与し、どの受容体を持たないマウスが発熱しないかを見ることで発熱がどの受容体を介するのかを突き止めました。痛みについても、PGがどの受容体を介して痛みを起こすのかを特定。それら受容体だけを標的とした薬ならPGの善玉作用を止めることはなく、副作用の心配がなくなります。現在杉本教授は製薬会社と一緒に、特定の受容体を標的にした、アスピリンを超える解熱鎮痛剤の研究を進めています。

### 真理を解き明かす中に 思いもよらない発見はある

脂質研究から発展し、健康寿命に深くかわる脂質クオリティにも着目している杉本教授。たとえばオメガ3という脂肪酸は、たくさ

ん摂取する人々はそうでない人々に比べて心疾患発症率が低く、オメガ3が体に良いことは知られています。しかし、なぜ良いのかは最近までわかっていませんでした。「脂質のバランスが変わるといろいろな疾患、例えばアレルギー、メタボなどの発症率に影響します。私たちは、脂質のクオリティの違いを、質量分析計を用いて厳密に解析しています。PGに続く新しい脂質の研究ですね」。

これらの研究は新薬や病気の予防薬開発にもつながり、「人の役に立つ」という大きな目的もあります。しかし、「自然の真理をひとつひとつ解き明かすところにこそ思いもしないようなことが見えてくる。さもありなん、という場所では見つかからない効果や予防法が見つかる可能性があると思います」と基礎研究の大切さを語ります。これからは研究者として「ええっ!」という発見の瞬間を得たいと杉本教授。学生には、「研究は自然との一本勝負。自分ができるか不安かもしれませんが、しっかりサポートします」と話してくれました。

### 密着！杉本研究室



平成29年5月ソフトボール大会公式戦終了後、頑張ったで賞



平成29年11月卒論発表会直後。発表者2名を囲んで。お疲れさまでした!

### lab's data

【大学院生命科学研究部  
薬学生化学分野】

□修論・卒論テーマ  
・プロスタグランジン受容体による生理・病態の調節機構  
・ $\omega$ 3脂肪酸等のリポクオリティが生体に与える影響とその分子機構に関する研究 など



□メンバー  
教授1人、講師1人、助教1人、研究員2人、秘書1人  
博士課程大学院生1人、修士課程大学院生3人  
薬学科学部生6人、創薬・生命薬科学部生3人

### Interview



薬学部創薬・生命薬科学科4年  
まだ  
前田 ひかるさん(左)

以前から薬のお世話になりその恩恵を受けていたこともあり、薬学部に入りました。ただ、高校生の頃から生物が好きで、生物の体のメカニズムを知りたいと、理学部よりの研究ができる杉本研究室を選びました。現在は子宮内腺症という女性の病気のメカニズムを探る研究に取り組んでいます。研究室では一人一つのテーマを持って研究しており、それぞれが違う実験手技を持っています。新しいことに取り組む時は誰かに教えるを乞うし、協力し合えるところがいいと思います。

今はまだ実験がきちんとできているか自信もないので、修士の2年間をさらにがんばって、自信をもって社会に出て行けるように成長したいです。

大学院薬学教育部博士前期課程創薬・生命薬科学専攻2年  
おおくほ きまると  
大窪 喜丸さん(右)

生物の基礎研究に携わることができること、そして、杉本先生の授業がわかりやすく、そんな先生のもとで研究をしたかったことが杉本研究室に入った理由。遺伝子改変マウスを使い、プロスタグランジンの生体における役割を解析する研究に取り組んでいます。プロスタグランジンの働きを理解できれば、悪いほうに作用して起こる病気ならそれを抑えることができるし、逆によい働きが減っていることが原因の病気もわかり、その薬を作っていくことができると考えています。

卒業後は企業で、臨床検査薬の研究職に就きます。研究室で学んだ客観性や論理的思考、研究スキルを活かし、人の役に立つ薬を作ることが目標です。



**がん治療の世界に  
新風を起こす！**

平成30年1月19日、(株)Quool が誕生しました。目標は、副作用の少ないがん治療薬や治療法の開発をサポートすることでがん患者さんの生活の質（QOL）の向上を追究すること。そして「みんなを救う=Cure All」。この2つの言葉が社名Quool に込められています。



（株）Quoolを通して、がん治療に新しい道を拓く超免疫不全マウス



**CyDing と Quool の  
共同事業も進行中！**  
（株）CyDing が販売を  
予定している飲料の効果をも  
（株）Quool が持つ技術で  
科学的に解析しています。



**グランプリで最優秀賞獲得**

様々な苦労も（株）リバネスや周囲のサポートで乗り越え、平成29年7月の「第2回熊本テックブラングランプリ」で見事最優秀賞を受賞。10月には全国大会でも日本ユニシス賞を獲得しました。大会後の懇親会では、食事までできないほど次から次に名刺交換をしたと刈谷特任助教。岡田教授は、「プレゼンなどで人に話すことで、漠然とした夢が具体的な形になります。刈谷君もこの1年でより成長しました。」

**「起業という道がある」  
知ってから一歩ずつ前進**

起業決意

「超免疫不全マウスを広く役立てたい」。そう考えていた刈谷特任助教に同じ研究室の岡田教授から持ち掛けられたのが、次世代ベンチャーの創出を支援する（株）リバネスからの「第2回熊本テックブラングランプリ」出場の話。それまで起業は考えもしていなかった刈谷特任助教ですが、説明会などに参加し、少しずつ思いを強めていきました。



大きく育てるために  
テックブラングランプリ  
出場をすすめました。

エイズ学  
研究センター  
おみだ せいじ  
岡田 誠治 教授



**がん患者さんの  
病態を忠実に再現できる**

超免疫不全マウスを持つ岡田研究室が特に着目していたのは、がんの分野。現在よく用いられているがんのマウスモデルは患者さんの病態を忠実に再現しておらず、これが原因で薬の開発成功率が低下しています。しかし、超免疫不全マウスを用いた、患者さんの病態を忠実に再現した患者腫瘍組織移植マウスモデルがあれば、薬の開発成功率を劇的に上げることが可能となり、新薬の開発が加速します。



**世界で3番目に成功！  
「超免疫不全マウス」**

薬の開発では、効果を試すために、ヒトの細胞や組織を移植したヒト化マウスが使われます。そのヒト化マウスを作るために必要なのが免疫不全マウス。その中でも、ヒトのさまざまな病気や組織が生着しやすく、いろいろな分野に活用できるのが超免疫不全マウスです。刈谷龍昇特任助教が所属するエイズ学研究センターの岡田誠治教授の研究室では、世界で3番目となる、超免疫不全マウスの作製に成功していました。

**熊本大学の  
ベンチャー支援**

**その1  
夢を実現する資金支援  
学生ベンチャー  
「夢プロジェクト」**

新規ビジネスの構築や、技術のベンチャー化など、学生ならではのアイデアを活かした起業を目指すプロジェクトに、ステージに応じて資金支援を行っています。平成30年度も募集しますので、是非とも応募してください！

熊本創生推進機構 イノベーション推進部門  
Tel. 096-342-2035  
sangaku-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

**その2  
外部の目で夢を事業化！  
熊本テックプラン  
グランプリ**

熊本県、(株)肥後銀行、熊本大学、(一社)熊本県工業連合会、(株)リバネスによる「熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアム」が開催する、起業プランコンテスト。学生や企業チームが参加し、ビジネスプランをプレゼンします。受賞者には企業や金融機関の支援があり、起業に向けた支援が行われます。



かりや りゅうりゅう  
刈谷 龍昇 特任助教  
キョウオール  
(株)Quool 代表取締役

平成27年熊本大学大学院医学部博士課程修了。同4月より熊本大学エイズ学研究センターの博士研究員として、超免疫不全マウスを用いた新規免疫療法の開発を行っている。

熊本テックブラングランプリは、自分の夢を思い切り語っていい場所。それに対してオーディエンスがアドバイスをくれて、夢が具体化していきます。チャンスは与えられるので、夢があるならぜひ出場することをお勧めします。



ひろつ たつり  
弘津 辰徳 さん  
サイディング  
(株)CyDing 代表取締役

(株)CyDingとは、第1回熊本テックブラングランプリ最優秀賞受賞後、(株)リバネスや熊本大学の支援を受け、薬学教育部の大学院生だった弘津さんと後輩2人で平成28年に設立したベンチャー企業。弘津さんが学生時代に所属した研究室で取り組んだシクロデキストリンを柱に、医薬品や機能性表示食品の開発を目指している。

**「熊本テックブラングランプリ」  
夢を具体化する最初の一步が**  
起業し、今後は運営していくというプレッシャーも感じています。まずは超免疫不全マウスを用いたモデルマウス作製受託や薬効試験などの業務で資金を得て、5年後をめどに患者腫瘍組織移植マウスモデルを用いた前臨床試験の受託と、マウスモデル自体の販売も計画しています。

飲料を開発。市場調査を実施した後、商品化して販売する予定です。とはいえ、やはりメインは医薬品の開発。大きな可能性を秘めたシクロデキストリンを応用し、抗がん剤をはじめ、いろいろな薬を開発していくことが目標です。

現在は、学生時代に研究したトウモロコシ由来のオリゴ糖で、中性脂肪・血糖値低減効果があるシクロデキストリンの誘導体合成を研究機関などから受託しているほか、シクロデキストリンの機能などに着目した

4月で起業して丸2年を迎えます。最初の一年はただ学生で大学の研究もあつたし、経営については勉強不足でした。起業はしたものの利益をどう上げていくか、また、税金や社会保険などについても苦労しました。しかし、昨年4月にくまもと大学連携インキュベータ内に事務所を構え、8月には後輩が副社長として入社。営業にも力を入れられるようになってきたところです。

**熊本大学発医療系ベンチャー企業  
(株)CyDing  
大学院を  
修了し、  
事業に専念**

ベンチャー2年目



# 世界に広がる 熊本大学

**特集Ⅱ**  
**行ってみよう!**  
**活用しよう!**  
**熊本大学学外オフィス**

熊本大学では、県外、国外にもオフィスがあります。それぞれのオフィスは、学外での打合せや、就職活動時の拠点として利用できるなど、熊本大学の学生や教員が、便利に活用できるようになっています。それぞれのオフィスの特徴を知って、活用してみてください!



熊本大学は、インドネシア人にとって、とてもよい環境が整っており、留学の在留資格を有する学生の数は、全留學生中第2位。リラックスして勉強できる大学として、これからも、熊本大学の魅力を、東南アジアに発信していきます。

## インドネシア ITS オフィス

**アジアでの研究者・学生交流を活性化する常駐オフィス**

海外オフィスの中でも、スタッフが常駐しているのがインドネシアのスラバヤ工科大学(ITS)内にあるインドネシアITSオフィスです。中国、韓国について3番目に設立された海外オフィスで、熊本大学の留学プログラムをITSの学生に紹介するなど、学生交流が活性化できるような説明や留学の準備支援などを行っています。



## 関西オフィス

**JR大阪駅から 徒歩4分の好立地!**

ビジネスの中心地、梅田の大阪駅前第3ビルにあるのが関西オフィス。就活や同窓会活動、研究活動の支援を行う、関西の拠点です。パソコンやコピー、FAXも揃っており、無料で機器を利用できます(前日までに要利用確認)。就活時には、企業面接の前に立ち寄って準備をする学生の姿も。他大学や企業との共同研究の打合せにも利用されています。

大阪府大阪市北区梅田1丁目1-3 大阪駅前第3ビル6階 608-2号室  
 TEL 06-4256-8153  
 アクセス JR「大阪駅」下車 徒歩4分  
 阪神電車「梅田駅」下車 徒歩3分



## 東京オフィス

**首都圏での研究活動や就職活動に便利!**

首都圏の情報収集や産学官連携の推進を目的に、東京工業大学田町キャンパス内に開設されたオフィスです。会議や打合せができる会議室のほか、コピーやパソコンなどの機器が利用できます。最近では、首都圏での就活時に、空港からオフィスに来て、更衣室でスーツに着替え、荷物を預けて面接に向かう、という人も増えてきています。

東京都港区芝浦3丁目3-6 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター4階407号室 TEL 03-5440-9093  
 アクセス JR山手線・京浜東北線「田町駅」下車 徒歩1分  
 都営地下鉄三田線・浅草線「三田駅」下車 徒歩5分



※海外オフィスは、他大学と共同で開設しているものもあります。利用の際は、事前の連絡等が必要な場合もあります。詳しくは、[熊本大学 海外オフィス](#) 検索



## 文学部 | 歴史の魅力や人の生き方を通し柔軟な物事のとらえ方を伝えたい



萬田 華菜  
Kana MANDA

福岡県立山門高等学校 教諭  
文学部歴史学科アジア史分野  
平成19年度卒

昭和60年生まれ。熊本県玉名市出身。熊本県立玉名高等学校卒業。大学卒業後は世界史を勉強し、私立高校での勤務を経て採用試験を受験、現任校へ。現在は日本史と公民を担当。趣味は海外旅行プランを練ること(実際にはなかなか行けない)。

### 熊大のココがイイ！

先生と学生とが同じ学問を志す同志として向き合い、やりたいことに没頭できる、貴重な環境だと思います。

### 現実逃避の図書館通い それが今の仕事につながった

高校生の時は、自分の長所や、自分にできることが全く見えず、未来に希望を持ってなかった時期でした。図書館にこもっては本ばかり読んでいて、その中でさまざまな人の生き様と向き合い、歴史へ興味を持ちました。まさか現実逃避の図書館通いが、今の職業につながるとは…。今思うと、不思議なものです。

### バイトや一人旅。未知のことに 踏み出した大学生時代

アルバイトや一人旅など、それまで踏み出せなかった新しいことにチャレンジした学生生活でした。その中でも一番長い時間を過ごしたのは研究室。すごいのは、いつ研究室に行っても、必ず誰かがいること！ここで先輩や先生方から教えてもらったり、同級生と一緒に論文を読んだりして過ごしていました。

### 教育実習で見た「これだ！」 就職活動を打ち切り教員の道へ

大学4年生の時の教育実習がきっかけで、就職活動を打ち切って教員採用試験の勉強を始めました。私が初めて「これだ！」と腹を決めた瞬間です。今の高校生は、私の高校時代以上に先が見えない将来に不安を感じています。少しでも歴史のおもしろさやさまざまな人の生き方を通して、柔軟な物事のとらえ方を伝えていきたいと考えています。

## 医学部 | 臨床と研究、双方の視点を持ち、熊本に貢献できる医師を目指して



永芳 友  
Yu NAGAYOSHI

一般社団法人  
天草都市医師会立天草地域医療センター(熊本県)

医学部医学科  
平成28年度卒

平成2年生まれ。熊本県天草市出身。私立久留米大学附設高等学校から熊本大学医学部医学科を経て同大学院医学教育部へ進学。

### 熊大のココがイイ！

学生時代から、最先端の研究に触れることができる。

### 開業医の両親を見て育ち 地域貢献を考えるように

両親が天草の開業医でしたので、実家を継ぐために医学部を選択。将来、地域に貢献できる医師になりたいと考えていました。専門性が高い医師というよりは、総合的に子どもから大人までの一般的疾患(common disease)をターゲットとし、地域の医療に携わることができる幅の広い医療者を夢見ていました。

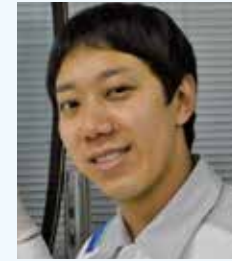
### 医学研究に没頭した大学時代 サイエンス・インカレでも入賞

放課後および休日は、基礎医学研究に没頭している毎日。研究を通して医学がより深く理解できることと、未知のことを探究する楽しみが大きな魅力でした。サイエンス・インカレでは文部科学大臣賞を授与されるなど、充実した研究生生活を送ったと思います。また産婦人科教授に声をかけられ、他学部他学科の仲間と子宮頸がんの啓発事業も行っていました。

### 研修医として勤務しつつ 大学院での講義や研究にも力

現在は、天草地域医療センターで初期研修医として勤務しています。今までの大学生活と大きく異なり、社会人、そして医師として患者さんと相対することに緊張感と責任感を日々感じています。また大学院にも入学したので、研修生活のかたわら大学院講義や研究にも力を入れています。

## 薬学部 | ドラッグデリバリーシステムの素材開発 世界中の製薬会社に製品を提供



大坂間 順規  
Kazuki OSAKAMA

日油株式会社 DDS事業部  
DDS研究所 第2G(神奈川県)

薬学部創薬・生命薬科学科  
平成22年度卒  
大学院薬学教育部  
創薬・生命薬科学専攻  
博士前期課程 平成24年度修了  
博士後期課程 平成27年度修了

平成元年生まれ。熊本県人吉市出身。熊本県立人吉高等学校卒業。大学で専攻した有機化学の知識を活かして、化学メーカーである現在の会社に入社。趣味は飲み歩き、ランニング。

### 熊大のココがイイ！

地方出身ならではの反骨心がある優秀な人が多く刺激になります！

### 化学への興味から、厳しい創薬への 挑戦に惹かれた高校生時代

もともと化学系の分野に興味があり、また人の役に立つ仕事がしたいという思いから漠然と薬に関連した研究に携わりたいと考えていました。創薬は非常に難しいという話を聞き、ぜひ挑戦してみたいと考えとともに、自らの手で生み出した製品で世界中の人々を助け、薬のすばらしさ・感動を届けたいという思いを強く持つようになりました。

### 諦めずにやり続ける大切さと その先にある成功の喜びを知った研究

研究室に配属されてからは研究漬けの毎日。なかなかうまくいかないことも多かったですが、乗り越えることができたのは支えてくれた仲間たちのおかげです。特に同級生の活躍には励まされました。諦めずやり続けることで、最終的にうまくいった時の喜びは格別です。継続して努力することの大切さを学ぶことができ、現在の仕事にも活かされています。

### 新しい医薬品の開発を目標に日々奮闘！

薬の副作用低減と治療効果を最大限に発揮させるDDS(ドラッグデリバリーシステム)用の素材開発に取り組んでおり、世界中の製薬会社に製品を提供しています。新製品の創出とともに、ラボスケールでの製法開発や、工場で生産できるようスケールアップ検討に取り組んでいます。製薬会社と二人三脚で新たな医薬品の開発を目標に日々奮闘中です。

## 理学部 | 大学で、物理の公式の裏にある すばらしい世界を知り研究に没頭



島村 孝平  
Kohei SHIMAMURA

神戸大学大学院  
システム情報学研究所 助教  
(兵庫県)

理学部理学科  
平成22年度卒  
大学院自然科学研究科  
博士前期課程 平成24年度修了  
博士後期課程 平成27年度修了

昭和63年生まれ。鹿児島県鹿児島市出身。私立育英館高等学校から熊本大学を経て大学院へ。物理学に興味があり研究者の道を志す。座右の銘は「人間到る処青山あり」。

### 熊大のココがイイ！

先生方がすばらしいです。時に厳しいですがとても親身で、学問に対して真摯、ワクワクすることを教えていただけます。

### SF好きで好奇心旺盛 漠然と、研究者に憧れた

好奇心旺盛で想像力たくましく、理科系科目がとて好きでした。小さい頃からSF好きだったことが理由かもしれません。漠然と、将来は研究者になりたいと思っていました。当時、シュレーディンガーら名高い物理学者の著作を読み物理学の研究者に憧れていたのですが、高校の物理は自然法則を「公式」として覚えることが主体のため、本当のおもしろさは理解していなかったと思います。

### 計算機シミュレーションの魅力に触れ 研究に打ち込んだ大学時代

大学のあまりの自由度に、2年生まではお世辞にも真面目な学生とは言えませんでした。3年生に上がってすぐの講義で「公式」の裏側にあった自然の魔術不思議さを教えられ物理学のすばらしさに気づき、以降はのめり込むように勉学に励みました。研究室に入ってからにはコンピューターを使い自然を再現できる「計算機シミュレーション」の魅力・可能性に触れ、ひたすら研究に打ち込む毎日。とにかく研究に熱中した大学生活でした。

### すさまじい精度で起こる化学反応 生体内の仕組みの本質を捉える研究

神戸大学での研究は、対象は生物なのですが研究手法は物理学に基づいています。凄まじい精度で化学反応を起こし続ける生体内では如何にしてそれを維持しているのか、その本質を捉えるための研究を行っています。

## 法学部 | 県職員としてさまざまな業務に従事 今は県議会本会議の円滑な運営を担う



村田 竜二  
Ryuji MURATA

熊本県議会事務局  
議事課

法学部法律学科  
昭和61年度卒

昭和39年生まれ。熊本市出身。熊本県立第二高等学校を経て熊本大学へ。

### 熊大のココがイイ！

学部が大規模でなかったのに、いろいろな先生方と親しくなれたこと。

### 裁判官という仕事に憧れて 法学部を目指す

中学生の頃、良心に従い独立して判断を下すというところに惹かれ、将来は裁判官になりたいと思いました。高校受験の際は、公立しか受験させないという親の方針もあって、理数科のある高校を受験。しかし、法学部に行きたい気持ちは変わらず、それには理数科ではないと考え、普通科に進学しました(笑)。

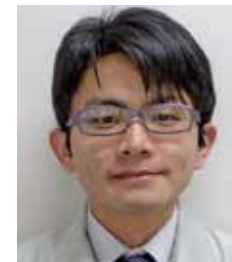
### 入学以来、法学部のほとんどの 行事運営に携わることに

入学した時、当時の3年生が法学部で体育祭をやろうと計画。その動きに巻き込まれて以来、法学部で初めて行う1年生の合宿研修を皮切りに、法学部のほとんどの行事に携わって過ごしました。3年生の時、当時の大学院生が司法試験に合格。それをきっかけにして、以降卒業するまで、大学院生の方々と一緒に司法試験の勉強をさせていただきました。

### 夢は叶わないままでも、 県職員として充実した毎日

大学卒業時は、大学院と熊本県職員採用試験だけを受けて、とりえず就職してから夢を追いかけようと思っていました。しかしながら夢は叶わず、30年が経ってしまいました。県職員就職後は、最初に携わったケースワーカー以降いろいろな業務を経て、現在は、地方公共団体の二元代表制の一方である県議会の本会議運営に携わっており、充実した毎日を送っています。

## 工学部 | ダムや発電所などの耐震評価 災害に備えて人々の暮らしを守る



佐々 和樹  
Kazuki SASSA

電源開発株式会社  
土木建築部(東京都)

工学部環境システム工学科  
平成20年度卒  
大学院自然科学研究科  
社会環境工学専攻博士前期課程  
平成22年度修了

昭和60年生まれ。熊本県菊池郡西合志町(現:合志市)出身。私立真和高等学校から熊本大学・大学院へ。海外インターンで石炭鉱山を見学した際エネルギーに興味を持ち、電力会社を志望。趣味はマラソン。

### 熊大のココがイイ！

魅力的な講義がたくさんあって、伸び伸び学べる。

### SF映画の近未来の世界に憧れ 自然と得たものづくりへの興味

正直に言えば、高校生の時は明確に「この職業に就きたい」とイメージしたことはありませんでした。ただ、SF映画が好きで、映画の中の近未来のメカや大きな建造物に対する憧れがあったため、自然とものづくりに興味を持ちました。そのため、大学では工学を学び、ものづくりにつながる知識を身につけたいと考えていました。

### グライダーで空を飛ぶ部活動 マイナーな部でも楽しい毎日

在学中は滑空機(グライダー)で空を飛ぶ部活動をしていました。入学後に初めて知ったスポーツでしたが、珍しくとてもおもしろそうだったと思い入部。マイナーなせいと部員が少なく、活動や運営の面で苦労することもありますが、先輩や仲間たちに支えられて、明るく楽しい大学生活を過ごすことができました。

### 人々の生活を支えるインフラ これからも技術力を磨いていきたい

電力会社で、電力設備の耐震評価を行う仕事をしています。近い将来、熊本地震と同じような大きな災害が起きるかもしれません。そのような時に備えて、ダムや発電所が災害に対して十分な耐久性を有しているかを評価することが私の仕事です。人々の生活を支えるインフラを守るため、技術力を磨いていきたいと考えています。



本学の卒業生たちの今に迫る「卒業生ジャーナル」。

熊本県内はもとより、国内外で活躍している先輩たちの様子を、これまでの歩みや苦勞、そして喜び、楽しみなどを通じてご紹介します。

## 教育学部 | 教師として生徒へ伝えられるから どんな経験も無駄にはならない!



岩浪 一平  
Ipppei IWANAMI

熊本市立清水中学校 教諭

教育学部中学校教員養成課程  
技術教育  
平成19年度卒

昭和60年生まれ。熊本市出身。熊本県立済々黌高等学校から熊本大学教育学部へ入学。大学院に進学後、教員採用試験に合格し中退。現在は教職10年目。子どもたちの将来にかかわる職業だという責任を大切にしています。

### 熊大のココがイイ！

学びたいという思いを高められる環境があり、友人や先生がいること。

### 高校3年の時、漠然としていた 教師という職業への思いが見えてきた

正直に言うとも明確な夢というものが見つからず、悩んでいた時期がありました。しかし、高校3年生のコース選択の際に、中学生の時から漠然と思っていた、「学校の先生になりたい」という夢を選ぼうと思い、進路選択をしました。もともと人とかかわることがとても好きだったので、「先生」という職業への思いが高まってきました。

### 教育実習や研究室での思い出も 充実した楽しいものばかり

2年生から技術科の授業が始まり、学科の友人たちとともに楽しみながら講義を受けていました。教育実習では、学科を越えて友人と協力しながら授業を考える日々で、大変充実していました。研究室で友人や先輩と談笑したり工場で製作をする時間もあり、休日のBBQや旅行も楽しみました。

### 大学院に進むも教員採用試験に合格 今は日々、生徒たちと楽しく過ごす

大学の4年間で専門的に学ぶことの楽しさを知り、大学院に進むことを選びました。大学院の1年次に採用試験に合格し、中退という道を選んで教職に就きました。現在は中学校の教員として毎日生徒たちと楽しくかかわっています。どのような経験も生徒たちに話ができるため、無駄なことはひとつもなかったと改めて実感しています。





教育学部3年の古川大晃さんが「熊本城マラソン2018」に出場し初優勝！

2月18日(日)に開催された「熊本城マラソン2018」で、古川大晃さん(教育学部3年)が、「歴史めぐりフルマラソン(男子)」において2時間20分50秒で見事初優勝を果たしました。

2月21日(水)には原田学長に優勝を報告しました。原田学長は「優勝おめでとう！12,000人のトップになったことは本学としても誇らしく思います。これからもがんばっ

てください」と、労をねぎらいました。

「20kmあたりから足が痛くなりましたが、沿道の温かい応援に気持ちが奮い立ち、最後まで走ることができました」と話す古川さん。

古川さんは熊本城マラソンの後もトレーニングを続けており、3月4日(日)に行われた「鹿児島マラソン2018」でも、2位という好成績を収めました。



「熊本城マラソン2018」でランナーの救護活動を行いました

2月18日(日)に行われた「熊本城マラソン2018」で、医学部附属病院循環器内科の小島淳医師(心不全先進医療共同研究講座特任准教授)をはじめとする医師、看護師、事務、学生総勢29名がランナーの救護活動を行いました。

今年で7回目となった熊本城マラソンですが、毎年熊本大病院から救護所を2カ所(南熊本と川尻)設置しています。救護所以外にも、メディカルランナーとして熊本大病院から6名の医師がスタートからゴールまでの42.195kmを走りながらランナーを見守りました。

今年も昨年同様、風もほとんどない快晴で、午前7時の気温は氷点下でしたが、極端な寒さは感じられず、その後徐々に上昇し最高気温が13度近くまで達したため、ランナーのみなさんは暑く感じられたかもしれません。今年も脱水によって足が痙攣するランナーが数多

く見られました。南熊本の救護所でも両足の痙攣で全く動けなくなったランナーに1時間近く対応して、何とかレースに復帰させることができましたが、その後ゴールされ、再び救護所までお礼を言いに来られました。

本大会のフルマラソンランナーに関する救急搬送は計4件で、今年も心停止といった重篤な事案はありませんでした。データ的にはランナー10万人中2-3人程度の心停止が発生す



るのですが、これまで参加された7万人程度のフルマラソンランナーから1人も重症例が発生していないのは、救護のみならずボランティアやあつい声援をおくる応援の皆さんの力であり、全国的にも抜群の人気を誇る大会に成長できた所以だと感じます。



ダイビング部が天草市長から感謝状をいただきました

平成29年11月25日(土)、本学ダイビング部の創部30周年記念式典において、天草市長から感謝状をいただきました。

これはダイビング部が平成7年から続けている天草トライアスロン大会スイムの部で救助スタッフとして長年、選手の安全確保と運営に貢献があったことが評価されたもので、救助スタッフはダイビングの装備を付け、長時間、海に浮かんだまま選手の安全を見守る過酷な業務です。感謝状を受けた主将の才田大矩さん(工学部3年)は「今後も天草トライアスロン大会を安全に運営するために、自分たちのダイビング技術が活かされれば幸い」と語ってくれました。



本学学生が九州地域ブランド総選挙でベストブランドストーリー賞を受賞！

九州経済産業局及び特許庁が主催する「九州地域ブランド総選挙」に本学学生が出場。コミュニケーション情報学川江ゼミの学生を中心とした2チーム計9名が、3月9日(金)に大分市で行われた本選に参加し、担当した地域団体商標の魅力や新しいビジネスプラン等についてプレゼンを行いました。惜しくも最優秀賞は逃しましたが、小国杉チームがベストブランドストーリー賞を受賞するという成果を収めました。

このイベントは九州各地の大学生と地域団体商標権者がチームを組み、地域ブランドの魅力や「instagram」で発信するとともに、ブランドのコンセプトやビジネスアイデアを立案し発表するもので、2月におこなわれた第一次審査で10チームが本選に進んでいました。ベストブランドストーリー賞は、地域ブランドストーリー審査の点数

が最も高いチームに贈られる賞です。

参加した学生からは「教室では学べないブランディングの奥深さを体験できた」「ブランドを育てるのが人であることを実感できた」等、手応えが感じられる感想が寄せられました。本学ではこれらの活動が、九州における地域ブランド推進の一助となることを期待しています。



【instagram】※審査は終了しています  
 ・天草黒牛(amakusakuroushi1201) <https://www.instagram.com/amakusakuroushi1201/>  
 ・小国杉(ogunisugi1201) <https://www.instagram.com/ogunisugi1201/>



第12回学生国際会議(The 12th ICAST 2017 Kaohsiung)を開催しました

平成29年11月23日(木)、24日(金)に、本学大学院自然科学研究科主催「第12回学生国際会議」(ICAST:International Student Conference on Advanced Science and Technology)を国立高雄第一科技大学(台湾)で開催しました。

ICASTは学生により運営される国際会議で、英語による研究発表や討論により、学生の実践力及び英語運用能力を強化し、海外からの学生との交流により国際感覚を養うことを目的としています。平成20年より海外交流協定

校での開催も含め毎年開催され、第12回目は国立高雄第一科技大学(台湾)での開催となりました。今回は、本学からの参加者52名に加え、熊本県内の高校から2名、海外交流協定校(インド、インドネシア、フィリピン)から6名の学生が参加。口頭発表59件、ポスター発表19件を英語で行いました。また、ICAST学生運営委員会を組織し、オープニングセッションを含む各セッションの司会進行等が学生により執り行われ、有意義な国際会議となりました。25日(土)に実施したフィールドトリップでは

正統鹿耳門聖母廟や国立故宮博物院南部院区を見学し、交流を深めました。



参加者による集合写真



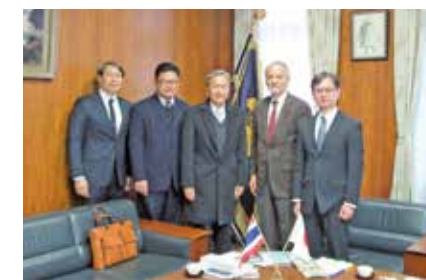
マヒドン大学シリラ病院医学部長が本学を表敬訪問しました

平成29年12月11日(月)、マヒドン大学(タイ)のブラシット・ワタナベ医学部長以下3名の訪問団が原田信志学長を表敬訪問しました。

マヒドン大学はタイ屈指の研究レベルを誇る総合大学です。特に医学部シリラ病院は、1888年にタイで最初に設立された歴史ある病院であり、平成25年の大学間交流協定締結後は医学系を中心に教員・学生交流が盛んに行われています。原田学長との懇談では、これまでの交流実績や今後の交流計画についての報告があり、和やかに終了しました。

訪問団は同日、安東由喜雄大学院生命科学部部長を表敬訪問し、平成29年7月に

締結した大学院医学教育部とのダブルディグリープログラム協定について具体的な協議を行いました。また、黒髪キャンパス見学、熊本大学医学部附属病院等の視察が行われ、今後の交流に向けての相互理解と交流が深められました。



原田信志学長とマヒドン大学医学部訪問団



社文研海外短期調査及び研究交流プログラムを開催しました

平成29年9月10日(日)～21日(木)、香港、マカオ、深圳、台湾で研究交流を行い、本学大学院社会文化科学研究科(社文研)と法学部から9名の学生が参加しました。各地域6大学へ訪問し、本学についてのプレゼンや学生交流を行いました。また、各地の歴史を学ぶため、香港、マカオでは大学で一国二制度についてレクチャーを受け、深圳市では中国大陸で最初の経済特区について、台湾では科学技術や中国大陸とは異なる司法制度について学ぶことができました。参加者からは、各地の大学生の生の声を聞き、異文化を体験

する貴重な経験になったとの声をいただきました。今後も、社文研院生や法学部生の国際交流の機会として、多くの学生の皆さんに経験を積んでいただくことを目標にします。



台湾総統府にて



マカオ大学キャンパス



香港大学法学院



ハノイ国家大学外国語大学附属外国語英才高等学校の学生が本学を訪問しました

1月15日(月)～21日(日)、ベトナムのハノイ国家大学外国語大学附属外国語英才高等学校の学生が、日本・アジア青少年サイエンス交流事業のさくらサイエンスプランとして本学を訪問しました。黒髪キャンパスの見学のほか、大学病院での看護体験や大学病院中央検査部等の見学を行い、学んだ内容を成果発表としてまとめました。その後は、くまもと工芸会館での和菓子づくりや熊本城城彩苑見学なども行い、熊本の文化を楽しみました。









# 知の至宝



ありすがわのみやたるひと  
扁額「瑞邦」 有栖川宮熾仁親王 (五高記念館所蔵)

熾仁親王の名は幕末から明治期への歴史の随所に見られる。戊辰戦争では新政府軍の東征大総督として自ら関東へ赴き、1877(明治10)年に西南戦争が起こると征討総督として九州に赴いた。

西南戦争の際には、敵味方の区別なく傷病兵を看護するという「博愛社」の設立を英断を以て認可した。この認可は、熾仁親王が座所としていた熊本市の旧洋学校教師館(ジェーンズ邸)で行われ、現在、ジェーンズ邸は「博愛社」を前身とする「日本赤十字社」発祥の地となっている。1887(明治20)年には、日本赤十字社の初代総裁を務めた。長きにわたって、軍人として、また政治家として明治天皇を補佐し、天皇の絶大な信頼を得ていたと伝えられる。

一方、有栖川宮家は書道 有栖川流を継承しており、熾仁親王の書は「阿蘇神社」の額や金刀比羅宮(香川県)の「琴平山」の額、厳島神社(広島県)大鳥居の額など各地に残されている。「瑞邦」とは「神に祝福された、めでたいわが国」という意味である。

文 藤本 秀子(五高記念館)

※五高記念館(国指定重要文化財)は、熊本地震による被害のため長期休館中です。